

2011年度

科目名	書誌学A				
担当教員	宇都宮 啓吾				
配当	日文2・文財2		コード	14020	
開期	前期	講時	月曜日4限	単位数	2
授業テーマ	書誌学の基礎知識を身につける。				
目的と概要	日本の古写本や版本などの古典籍を取り扱う上で必要となる書誌学の基本的事項を出来るだけわかりやすく説明していきます。また、講義には、実習形式(書籍の制作)を取り入れ、実際の古典籍にふれる機会を設けます。				
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)				
テキスト	『日本古典書誌学総説』(藤井隆 和泉書院)				
参考書	講義中に、適宜、紹介します。				
履修に当たっての注意・助言/準備学習	準備学習(時間外学習):講義中に指示した課題を次の時間までに解決しておくこと。また、書籍の作成については、時間外での作業も必要になる場合がある。 学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気を壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。				
講義計画					
第1回	オリエンテーション(全体の講義計画・評価方法等の説明)				
第2回	書誌学の概要(日本古典書誌学について・近世までの書誌学的作業と研究)				
第3回	書誌学の概要(日本古典書誌学について・近世までの書誌学的作業と研究)				
第4回	書籍の料紙(書籍の起源と材料の変遷)				
第5回	書籍の料紙(原料による紙の種類)				
第6回	書籍の料紙(加工による紙の種類)				
第7回	書籍の形状(装訂の種類)				
第8回	書籍の形状(装訂の種類)				
第9回	書籍の形状(装訂の種類)				
第10回	書籍の形状(装訂の種類)				
第11回	書籍の形状(書籍の形状に関する部分名称)				
第12回	実習(書籍の制作)				
第13回	実習(書籍の制作)				
第14回	実習(書籍の制作)				
第15回	講義の総括				